

公民連携によるSDGsの推進

社会的課題が複雑化するなか、持続可能な地域の発展を目指すためには、様々なステークホルダーの連携・協働が不可欠である。

このため、「ひょうごSDGs Hub」を設立し、会員間の情報共有、連携・協働の促進等により、SDGsの取組の裾野拡大や新たな事業創出を図ることで、社会的課題の解決と地域活性化の両立を実現する。

17 パートナシップで
目標を達成しよう



ひょうご SDGs Hub



会員

兵庫県内の自治体、企業、団体、教育機関で、入会を希望するもの。
※所在地が県外でも県内で活動する団体等は入会可能

ウェブ
登録



事務局：兵庫県総合政策課

Stage 1

つながる

連携・
協働

公民連携による社会的課題の解決や、会員同士の連携・協働の取組を支援



Stage 2

取り組む

自主事業
の推進

ひょうごSDGsHub自主事業や会員が企画する事業への参画



Stage 3

知る

情報発信
・共有

ひょうごSDGsHubホームページ等による自治体の支援施策や会員企業等の取組情報の発信



取組レベル
に応じた3
つのステー
ジを用意

ひょうご SDGs Hub 会員募集 (10/5～)

1 対象者

- ✓ 兵庫県内の自治体、企業、団体、教育機関で、入会を希望するもの
- ✓ 所在地が県外でも、県内で活動する団体等は入会可能

会費無料

2 会員申込

以下のアドレスまたはQRコードからアクセス (随時受付)

<https://www.e-hyogo.elg-front.jp/hyogo/uketsuke/form.do?id=1661244405215>



3 ひょうごSDGs Hub入会の主なメリット

つながる

- 地域や社会の課題等に対して、自らのノウハウを提案し、官民連携で取り組むことが可能
- 課題を持つHub会員と、解決策等を持つHub会員とのマッチングを支援

取り組む

- SDGsに関するシンポジウムやセミナーなどへの参加により、SDGsの理解促進や、Hub会員同士の知見の共有が可能

知る

- ホームページ等で、行政やHub会員が主催するSDGs関連イベントや、行政の支援制度等を知ることが可能
- Hub会員自らの取組をホームページ等で対外的にPRすることが可能

[問合せ先] 兵庫県企画部 総合政策課 SDGs推進班
TEL:078-341-7711 (内線2154、2239)

経済

兵庫県と神戸経済同友会、SDGsで連携 社会課題の解決目指す

2022.10.05



「『わたし』からアクション共同宣言」を発表する斎藤元彦・兵庫県知事（中央）と神戸経済同友会の役員ら＝神戸市中央区下山手通4、兵庫県公館

兵庫県と神戸経済同友会は5日、公民が連携して持続可能な開発目標（SDGs）を推進する「ひょうごSDGsハブ」を設立した。会員間の情報共有などを通じ、社会課題の解決と地域活性化の両立を目指す。

同友会が県に打診して実現。事務局は県総合政策課に置き、自治体の支援メニューの紹介や会員企業の先進事例の発信などを行う。本年度に県内の自治体や企業・団体、教育機関など400社・団体、来年度までに千社・団体の入会を目指す。

斎藤元彦知事らが神戸市内で設立会見を開き、事業の第1弾として、働く人々のライフプランやキャリアデザインを組織のリーダーが率先して応援する「『わたし』からアクション

共同宣言」を発表した。

斎藤知事は「3つの減とプラス1」を掲げ、残業、あいさつ、会議を減らして、プライベートの時間を増やし、クリエイティブな活動につなげる―と宣言。

同友会の服部博明代表幹事（みなと銀行会長）は「女性の活躍推進をはじめ、働く人の多様性を高めて企業価値、働きがいの向上を目指す」とした。神戸市外国語大などの学生6人との意見交換も行った。（西井由比子）